

【同伴避難】事例の分類試案

——【包摂】【連携】【対話】【情報】の観点から——

加藤 謙介

(九州医療科学大学 臨床心理学部)

「人とペットの災害対策」の成果／課題の指標？：

【包摂】【連携】【対話】【情報】

■ 「人とペットの災害対策」の成果／課題の指標は何か？

➡ 例えば、「包摂」「連携」「対話」「情報」の4つの観点からの整理は？(加藤, 2022)

■ **【インクルージョン(包摂)】** 人もペットも「みんなが助かる」防災・減災の実践が進められている。

例)「スターターキット」が、各避難所の運営に実装され、災害時の避難者受け入れて活用された。

■ **【コミュニケーション(対話)】** 人もペットも「みんなが助かる」防災・減災の実現に向けて、立場が異なる多様な主体間の「双方向の対話」が進められている。

例)「スターターキット」の活用方法について、行政－市民での協議が進められている。

■ **【コラボレーション(連携)】** 人もペットも「みんなが助かる」防災・減災の実現に向けて、多様な主体が役割分担をして、活動が進められている。

例) 行政－市民が協働し、各避難所に合わせた「スターターキット」のカスタマイズを進めている。

■ **【インフォメーション(情報)】** 人もペットも「みんなが助かる」防災・減災の実現に向けて、マニュアル等の「文書の整備」や「情報発信」が行われている。


例)「スターターキット」のひな型がある。

■ **【同伴避難】**：「被災者が避難所でペットを飼養管理すること(状態)」を指す。(中略) 指定避難所などで飼い主がペットを同室で飼養管理することを意味するものではなく、ペットの飼養環境は避難所等によって異なることに留意が必要である。」(環境省, 2018a, p.5)

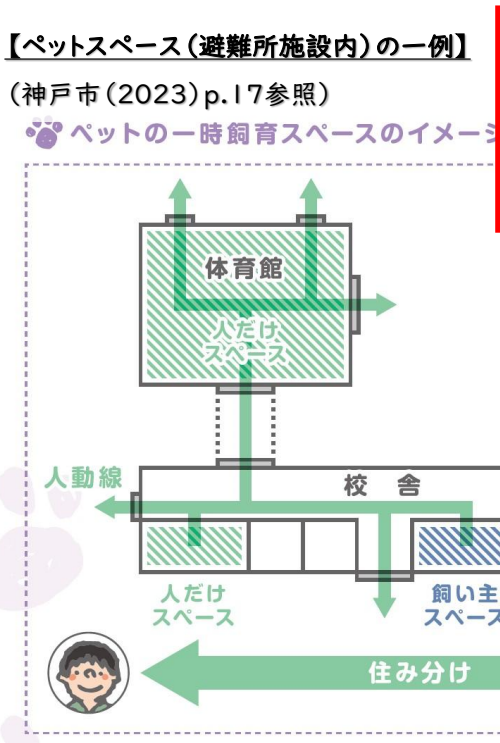
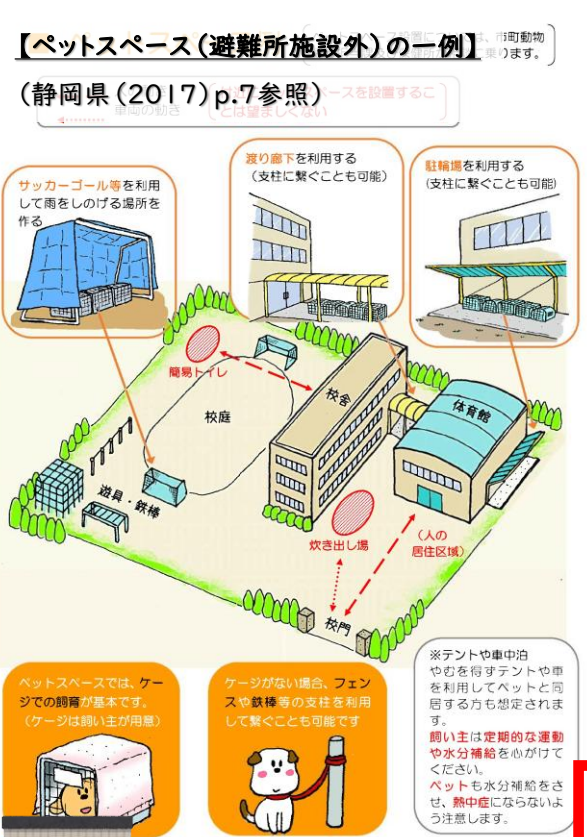
- 人間／動物の居場所の「**住み分け**」「**動線の分離**」「**思いやり**」が重要に(平井, 2016)

➡ **【同伴避難】**を4分類(加藤, 2022)し、**【包摂】****【連携】****【対話】****【情報】**から事例を整理

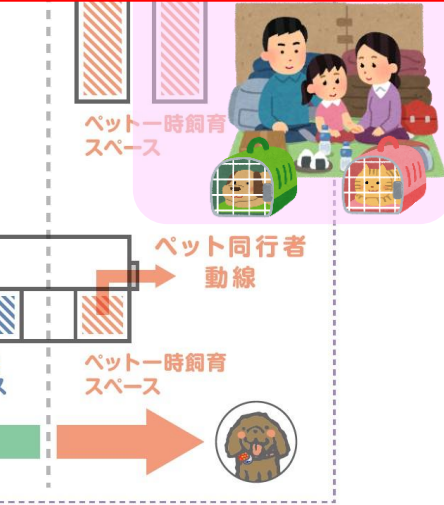
【同伴避難-3】
飼い主-ペットの
【避難所 敷地内同居】


「避難所敷地内」での、飼い主-ペットの同居(車中避難・テント避難)
➡ **エコノミークラス 症候群・熱中症に注意!**

【同伴避難-4】
飼い主-ペットの
【避難所 敷地内別居】



【同伴避難-1】
飼い主-ペットの
【避難所施設内同居】



【同伴避難-2】
飼い主-ペットの
【避難所施設内別居】



【避難所施設内同居】

【熊本地震(2016)】 益城町総合運動公園避難所 (加藤, 2017)

- **【包摂】** 避難所施設が被災し、適切なゾーニングは困難な中、避難所管理者の尽力により、飼い主・非飼い主が混在するかたちで【同伴避難】を実施 (※避難生活長期化に伴い、発災1か月後に施設内ペット飼育禁止に)
- **【連携/対話】** 飼い主 (適正飼養) - 避難所管理者 (避難所運営・環境設定等) - 動物NPO・ボランティア (物資支援等)
- **【情報】** (避難所運営マニュアル等は不明)

【能登半島地震(2024)】 石川県輪島市内の学校避難所 (加藤, 2025a)

- **【包摂】** 住民主体の避難所運営を、避難所管理者 (行政)・外部支援者 (医療NPO・動物NPO) がサポートし、飼い主・非飼い主を別棟に分けて【同伴避難】を実施。避難者同士の関係により、人避難スペースでペットと同居する例も (※避難生活長期化によるトラブルあり)
- **【連携/対話】** 避難住民 (避難所運営) - 飼い主 (適正飼養) - 行政・医療NPO (避難所運営支援・環境設定等) - 動物NPO (同伴避難支援)
- **【情報】** (避難所運営マニュアル等は不明)

【避難所施設内別居】

【能登半島地震(2024)】 石川県七尾市内の学校避難所 (加藤, 2025a)

- **【包摂】** 住民主体の避難所運営を、避難所管理者(行政)・外部支援者(動物NPO)がサポートし、飼い主・非飼い主を別室に分けて【同伴避難】を実施。他の飼い主とペットを思いやり、愛犬だけを別室で飼育する例も。
- **【連携/対話】** 避難住民(避難所運営)－飼い主(適正飼養)－行政(避難所運営支援・環境設定等)－動物NPO(同伴避難支援)
- **【情報】** (避難所運営マニュアル等は不明)

【台風14号(2022)・台風10号(2024)等】 宮崎県延岡市内の指定緊急避難場所

(加藤, 2025b, c)

- **【包摂】** 危機管理行政が、市内約70か所の指定緊急避難場所の約7割の施設内に、人避難スペースとは別に「ペット避難スペース」を設置。2022年より4年連続で、短期間・小規模ながら【同伴避難】を実施。高齢のペット飼い主(要配慮者)の早期避難の実現が示唆された。
- **【連携/対話】** 飼い主(適正飼養)－危機管理行政(環境設定等)－避難場所配置職員(避難場所運営・飼い主－ペット受入等)
- **【情報】** 危機管理行政の防災広報・アプリでの避難場所情報発信等

【避難所敷地内同居】

【熊本地震(2016)】益城町総合運動公園避難所 (加藤, 2017, 2020; 環境省, 2018b)

- **【包摂】** 災害・動物NPOにより、避難所敷地内にペット飼育可の「テント村」が設置され、飼い主—ペットの【同伴避難】を実施 (※避難生活長期化により二次被害の危険発生・約1か月で行政から撤退指示)。
- **【連携/対話】** 飼い主 (適正飼養) — 災害・動物NPO (環境設定・物資支援等) (※避難所管理者・地元行政との連携・対話に課題)
- **【情報】** (避難所運営マニュアル等は不明)

【避難所敷地内別居】

【熊本地震(2016)】益城町総合運動公園避難所(加藤, 2017, 2020; 環境省, 2018b)

- **【包摂】** 環境省・益城町・避難所管理者・動物NPOの共同プロジェクトとして、発災1か月後に、避難所敷地内に避難ペットの一時預り施設を供用。飼い主自身によるペットの飼育管理、飼い主同士の互助、施設スタッフ・ボランティアによる飼育指導・支援等で、5カ月半の【同伴避難】を実施(※施設利用開始当初、強い不安を訴える飼い主もあったが、互助・共助で支え合う)。
- **【連携/対話】** 飼い主(適正飼養・互助)－施設スタッフ・ボランティア(飼育指導・支援)・動物NPO(施設運営等)－環境省・益城町・避難所管理者(環境設定等)
- **【情報】** 施設使用ルール等

【令和2年7月豪雨(2020)】熊本県人吉市・多良木町内の学校避難所(加藤, 2022)

- **【包摂】** コロナ禍で避難所施設内の利用が困難な中、地元保健所・愛護団体・動物取扱業等が、避難所管理者・飼い主と協議の上、「非常階段下」「駐輪場」にペット飼育スペースを設置して【同伴避難】を実施(※猛暑時の災害で、後に獣医師会・愛護団体等による一時預かり支援に移行)
- **【連携/対話】** 飼い主(適正飼養)－地元保健所・愛護団体・動物取扱業等(環境設定・同伴避難支援)－避難所管理者(避難所運営・環境設定等)
- **【情報】** (運営マニュアル等は不明)

引用文献一覧（※一部資料は、書誌情報をクリックすると、本文PDFを入手可）

- [平井潤子\(2016\). 動物防災の3R——準備と避難と責任と—— 特定非営利活動法人アニス](#)
- [環境省\(2018a\). 人とペットの災害対策ガイドライン](#)
- [環境省\(2018b\). 熊本地震における被災動物対応記録集](#)
- [加藤 謙介\(2017\). 平成28年熊本地震における「ペット同行避難」に関する予備的考察——益城町総合運動公園避難所の事例より—— 九州保健福祉大学研究紀要, 18, 33-44.](#)
- [加藤 謙介\(2020\). ペットとともに、被災後のコミュニティを生き抜く——熊本地震被災地におけるコミュニティ縮退と被災者-ペットの尊厳ある生の事例より—— 災害と共生, 4\(1\), 49-65.](#)
- [加藤 謙介\(2022\). 日本における「人とペットの災害対策」をめぐる課題と展望——「包摂」「連携」「対話」「情報」の観点から—— 自然災害科学, 41\(3\), 245-300.](#)
- [加藤 謙介\(2025a\). 令和6年能登半島地震における<人とペットの3つの避難>に関する予備的考察——発災初期の能登地方の事例を踏まえて—— 災害と共生, 8\(1\), 45-58.](#)
- [加藤 謙介\(2025b\). 令和4年台風14号における指定緊急避難場所でのペットとの『同伴避難』対応の意義と課題——宮崎県延岡市での事例より—— 自然災害科学, 44\(2\), 211-230.](#)
- [加藤 謙介\(2025c\). 令和6年台風10号における指定緊急避難場所での「同伴避難」に関する予備的考察——宮崎県延岡市の事例を踏まえたインクルーシブ防災の観点から—— ヒトと動物の関係学会誌, 70, 39.](#)
- [神戸市\(2023\). 災害時のペットとの避難ガイドライン](#)
- [静岡県\(2017\). 避難所のペット飼育ガイドライン](#)